

失敗から学ぶ企業再生

「経営者の2つの基本」

私は常々「就業規則のない会社と社員教育ができない会社は危ない」といつたり書いたりしている。この2つは経営者の基本であり、そこを手抜きすればたちまち倒産の危機に見舞われる、といて差し支えない。

就業規則は会社にとって、国における法律のようなものである。にもかかわらず、就業規則を持たない中小企業も少なくない。中には自分の手抜きを棚に上げ、「10人程度の従業員に就業規則など必要ありませんよ」と一笑に付す経営者もいる。が、そういう経営者に限って従業員の遅刻や無断欠勤、外回り社員の直行や直宅に悩まされていたりもする。それでもやっていけるから、潰れもしないから、というのは経営ではない。社員一人ひとりの能力と生産性を高め、それを利益に結びつけていくのが経営である。そのためにも、社員の士気・規律を高めるべく、就業規則は不可欠といっている。

人は誰しも易きにつきやすい。苦よりも楽を、規律よりも自由を求める。が、それでは自分の能力を高めることも、開花させることもできない。経営者の使命は、社員に給与を払って生活を保証するだけにとどまらない。その社員の能力を開発し、全開させ、達成感と生きがいを感じるところまで、引き上げてやらなければならない。それが社員教育である。そこを手抜きすれば、人材は育

たないし、会社の業績も伸びようはずがない。

それはちょうど、文部科学省が「ゆとり教育」の名の下に、義務教育の現場へ週休二日制を導入したとたん、生徒の学力が急低下した現象と同じ構図である。ゆとりと手抜きは紙一重といっている。

就業規則と社員教育は、経営者が自らの手で行うべき基本中の基本である。それをコンサルタントにつくってもらったり、外部の訓練機関に頼んだりでは、百害あって一利もない。そこには当の経営者の考え方も、目指すところも、まるで入っていないのだから。

八起会 会長 野口 誠一

野口 誠一／のぐち・せいいち

1930年東京生まれ。日本大学卒。55年に玩具メーカーを設立。急成長を遂げたものの、ドルショックと放漫経営がたたって77年に倒産。翌78年「倒産者の会」設立を呼び掛け「八起会」を起こす。「倒産110番(03-3835-9510)」を中心に、再起・整理・人生相談まで無料奉仕。著書に「修羅場の人間学」(東洋経済新報社)、「こんな社長が会社をつぶす!」(日本実業出版社)、「幸せをあきらめない」(致知出版社)、「家族の力」(祥伝社新書)など

新入会員のご紹介

自：平成21年7月4日 至：平成21年8月20日

所属部会	事業所名	所在地	代表者名	TEL・FAX	資本金(万円)	従業員	営業内容
建設	マンガク工業	舞鶴市行永東町2-20	清水 満	T 63-4084 F 63-4084		3	電気工事
建設	東洋リフォーム 上道塗装店	舞鶴市字余部上289番地5	上道 武志	T 62-8421 F 62-8421		2	建築塗装業
商業	(株)西本佛壇店	舞鶴市字真倉大山235番地	西本 昭彦	T 76-9188 F 76-9195	1000	17	寺院用品、仏壇・仏具 販売卸売業

会員内容変更のお知らせ

自：平成21年7月24日 至：平成21年8月31日

名簿	事業所名	変更内容
P80	(有)舞鶴折込センター	代表者：村上幸宏
P96	丹後瓦斯(株)	代表者：山川康幸 住所：〒625-0062 字森大田野493番地 資本金：2億9500万円
P98	南石油(株)	代表者：南 展央

商工会議所の動き

自 平成21年7月21日 至 平成21年8月20日

【部会・委員会】

広報委員会

○8月20日(木)午前9時30分より当所において
大津副委員長をはじめ5名の出席のもと開催した。
～主な議事～

- ・会報校正について(8月号)
- ・表紙について(8月号)

・9月号の内容について

正副会頭日誌

- 7月21日 護衛艦すずなみ出港行事(北吸岸壁)
上西会頭
- 8月3日 一般社団法人 京都舞鶴港振興会臨時総会(舞鶴21) 上西会頭
- 8月7日 海上自衛隊舞鶴教育隊修業式(教育隊)
上西会頭
- ◇ 第26回国民文化祭実行委員会(舞鶴市)
上西会頭